2019年度　卒業論文

指導教授：坂上学教授

論文題名：

ここに論文のタイトル（16ポイント）を入れる

法政大学経営学部

経営学科

自分の名前（16F0XXX）

目　　次

第1章　はじめに（見出し１を指定） 1

1-1　節のタイトル（見出し２を指定） 1

1-1-1　項のタイトル（見出し３を指定） 1

1-1-2　項のタイトル（見出し３を指定） 1

1-2　節のタイトル（見出し２を指定） 1

第2章　章のタイトル（見出し１を指定） 2

2-1　説のタイトル（見出し２を指定） 2

参考文献 3

# 第1章　はじめに（見出し１を指定）

## 1-1　節のタイトル（見出し２を指定）

　上記のように、「章」と「節」のタイトルの前後には、１行空きを入れます。こうすると、見やすくなります。

### 1-1-1　項のタイトル（見出し３を指定）

　「項」の前には１行空きを入れ、後ろには空きを入れずに、このように文章を続けると良いでしょう。

### 1-1-2　項のタイトル（見出し３を指定）

　ほげほげ。ふがふが。

## 1-2　節のタイトル（見出し２を指定）

↓章が終わったら、Ctrl+Enterで改ページを入れます。

# 第2章　章のタイトル（見出し１を指定）

## 2-1　説のタイトル（見出し２を指定）

　以下同様。

# 参考文献

森田松太郎（2009）『ビジネスゼミナール　経営分析入門＜第４版＞』日本経済新聞出版社。

ジョン・Ａ・トレーシー、伊藤邦雄（監訳）、吉川明希（訳）、（1996）『ビジネスプロフェッショナル講座　MBAの財務』日本経済新聞出版社。

丸山哲夫（2002）「第1章　社会的行為の構造」、碓井崧・丸山哲央・大野道邦・橋本和幸編『社会学の理論』有斐閣ブックス、pp. 9-27。

中村忠（1998）「論文の書き方」『創価経営論集』第23巻第1号、pp. 59-66。

Gudykunst, W., & Kim, Y. Y. (1984). *Communicating with strangers: An approach to intercultural communication*. New York: Random House.

Bennett, M. J. (1986). A developmental approach to training for intercultural sensitivity. *International Journal of Intercultural Relations*, Vol. 10 No. 3, pp. 179-196.

文部科学省（2001）「留学生の受け入れ概況（平成13年版）」2001年10月発表　文部科学省ホームページ（http://www.mext.go.jp/）（2001年1月現在）

※参考文献は、上記の書式を参考にして作成してください。上から、

* 一般の書籍の場合
* 翻訳書の場合
* 書籍の中の１つの章を参照した場合
* 研究誌の中に掲載された論文を参照した場合
* 英語の書籍の場合
* 英語の研究誌に掲載された論文の場合
* インターネットサイトを参照した場合

です。